



荒川の豊かな自然「三ツ又沼ビオトープ」は、流域の学校や園、企業や団体などが関わることで、守られています。2021年度第1号では、近隣の小中学校等と連携して取り組む2つのプロジェクトや現地での保全管理活動の実施状況を皆さんに紹介します。

荒川ハンノキ・プロジェクト

上尾市立太平中学校



2020年度(左)、2019年度(右)に植栽したハンノキの様子

三ツ又沼ビオトープでは、これまで荒川ハンノキプロジェクトの一環で、近隣の小中学校と連携して、埼玉県の名蝶である「ミドリシジミ」が舞うハンノキ林の再生に取り組んできました。今では、三ツ又沼のそばに高さ10mほどのハンノキの林ができつつあります。

植え戻したハンノキは順調に生育中

昨年12月に上尾市立太平中学校科学部の生徒が植え戻したハンノキが、三ツ又沼ビオトープで元気に育っています。今後も順調に生育し、将来的にミドリシジミが卵を産みに来ることを期待しています。



ミドリシジミ

川島町立つばさ南小学校



ハンノキを食草とするミドリシジミについて解説しました。

今年もはじまるハンノキ学習

4月21日(水)に、川島町立つばさ南小学校3年生が総合学習の一環で、三ツ又沼ビオトープを見学しました。プロジェクトに取り組んだ先輩が植え戻し大きく育っているハンノキを見学するとともに、あらかわ市民環境サポーターからミドリシジミとハンノキの関係について、学びました。その後、今年度学校で育ててもらうハンノキや荒川の草花のたねを3年生の代表児童にお渡ししました。頑張って育ててもらえればと思います。



荒川上流河川事務所から児童代表にたねをお渡ししました。



太平中学校の生徒が育てたハンノキの様子を紹介しました。

荒川の草花を育てようプロジェクト



三ツ又沼ビオトープに植栽されたメハジキ

荒川流域にもともと生育する野草「荒川の草花」がたくさん見られる原風景を再生するために、草花を育てて増やす取り組みが進められています。

植え戻した草花がしっかり根付く

昨年、あらかわ市民サブ環境サポーターが育てたメハジキを三ツ又沼ビオトープに植え戻しました。その後もしっかりと根付き、元気に育っています。今年度も荒川の草花を育てる活動にご協力いただき皆さま、よろしくお願いいたします。

3校合同のたねのお渡し式をオンラインで開催

5月12日（水）、プロジェクトに参加する3校合同でたねのお渡し式をオンラインで実施しました。コロナ禍ということと、プロジェクト参加校間の交流を踏まえてオンラインでつなぐことを今年度試行しています。今年も学校のビオトープやプランターで荒川の草花の育成をよろしくお願いいたします。

上尾市立大石北小学校
上尾市立平方北小学校
上尾市立富士見小学校



大石北小学校環境委員会



平方北小学校環境委員会



富士見小学校環境栽培委員会



あらかわ市民環境サポーター事務局

パートナーシップにより進められる 三ツ又沼ビオトープの保全管理

ボーイスカウト上尾4団



(左) 中国原産のシヨカツサイを頑張って抜き取りました。(右) 湿地の草花が芽生えている春のヨシ原を見学しました。

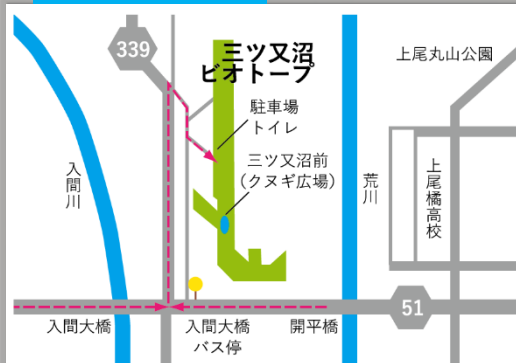


外来植物の抜き取りに挑戦

4月18日（日）、ボーイスカウト上尾4団の皆さんが、三ツ又沼ビオトープを見学しました。守り育てている湿地の草花を観察したり、中国原産の外来植物「シヨカツサイ」を抜き取る活動を元気に取り組んでくれました。

アクセス

荒川の自然を守るボランティア募集



外来植物の除去などビオトープの自然を守る活動を行います。活動を通して、荒川の自然や生きものに触れ合えます。荒川の貴重な自然が残る「三ツ又沼ビオトープ」を共に守り育てましょう！

※三ツ又沼ビオトープでの保全活動に3回以上参加すると、「あらかわ市民サブ環境サポーター」（荒川上流河川事務所内のサポーター事務局にて登録）に申請できます。サブサポーターになると、小中学生等の環境学習や企業の社会貢献活動を行う際のサポートや、ビオトープの今後の保全管理について話し合うミーティングに参加できます。三ツ又沼ビオトープの保全管理に、より主体的に関わりたい方はぜひ、サブサポーターに申請をお願いします。